

第3回 憲法と平和を考える市民の集い

新田原基地と米軍～普天間基地返還のゆくえ

宮崎県はいま「米軍問題」に直面しています。すでに米軍と自衛隊の共同演習が始まり、米軍の要請により新滑走路と米兵用宿舎を建設中の新田原基地が、今年5月、沖縄・普天間基地の返還に絡み、代替基地の有力候補ではないかと報道され、にわかに緊迫した情勢となっています。

そこで宮崎県弁護士会では、この新田原基地と米軍の問題をテーマに、第3回憲法と平和を考える市民のつどいを企画しました。

普天間基地返還に燃える沖縄、全国の米軍基地、新田原基地の状況についてパネリストから報告をいただき、いま何が起きているのか、地元宮崎において米軍を受け入れることの意味、平和と人権、憲法について、みなさんと一緒に考えたいと思います。多数のご参加をお待ちしています。

日時

2010年12月11日(土)

参加自由・入場無料

午後2時開会(午後1時半開場、午後4時閉会予定)

場所

JA AZM 本館大研修室 (裏面に地図)

報告・パネリスト

●新垣勉氏(弁護士)

沖縄弁護士会所属。反戦地主弁護団・代理署名拒否事件知事弁護団に参加、現在沖縄普天間基地爆音訴訟団長。元沖縄弁護士会会長(2003年度)、元日弁連憲法委員会副委員長。日米地位協定改定の実現を求めるNGO事務局長。

●斉藤光政氏(東奥日報編集委員)

防衛、基地、安全保障問題が専門。在日米軍の核問題に迫った連載「解かれた核の封印」で2000年に第6回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞。在日米軍再編と北朝鮮問題についての報道で2007年に第11回新聞労連ジャーナリスト大賞受賞。2009年には在日米軍基地の意義を問う一連の報道と著書「在日米軍最前線」で第9回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞受賞。

●吉田貴行氏(新富町町議)

宮崎県平和委員会理事。地元町議として、新田原基地への米軍部隊移転、訓練移転について調査、反対運動に取り組む。

宮崎県弁護士会報告

●塩地陽介会員(宮崎県弁護士会憲法委員会副委員長)

主催: 宮崎県弁護士会

連絡先 宮崎市旭1丁目8番28号 TEL (0985) 22-2466